

ITを活用し教科学習と連動した表現力の育成 ～国語科・社会科での実践を通して～

宮崎県宮崎市立池内小学校 教諭 水野宗市

souiti@js4.so-net.ne.jp

キーワード：教科学習、表現力、国語科、社会科、IT機器、5年生

1. 研究のねらい

これまでの自分自身の取組（テレビ会議システムの活用、インターネット等の活用など）やCECでの「学校企画」の実践からの振り返りにより、IT活用による「表現力の育成」においての効果を実感している。

そこで、本企画では、ITを活用して意図的に「表現する場」を年間を通じて設定し、計画的に表現する活動を行うことで、「表現力の向上」を達成することができるのではないかと考え実践している。

また、これまでの実践を振り返り、ITを活用して表現力を育成していくときに、教科との関連が明確にできていなかった部分を感じている。今回「ITの活用による表現力の育成」と「教科学習」という2つの視点を持ち、教科の目標を第1のねらいとしながらも、その活動の中で効果的に「ITを活用して表現する場」を位置づけていくことで、教科学習の目標達成と表現力の育成を図っていくのではないかと考える。

2. 研究の実践

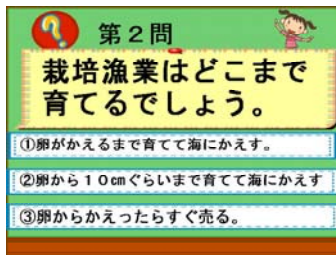
2.1 教科関連表

国語科・社会科の単元内容を吟味し発展的に「表現に関する内容」を扱っている部分を取り上げ、教科関連表を作成して実践を実施した。関連表を作成する際に、ポイントとした項目は次のような点である。

- 単元の中で、「まとめて、伝える」という部分を洗い出して作成していった。
- 学習した内容をもとに、短時間でまとめる活動ができるように配慮した。
- 洗い出した内容と様々なIT機器を関連させていった。（様々な体験を行う）

月	科	単元名	時間	関連する学習活動	本単元での目標	目標との関連
4	国語	だいじょうぶ だいじょうぶ、水の心、山頂から（全7時間）	6～7②	好きな詩の情景が表れるような朗読発表会をする。	情景や心情を想像しながら朗読する。【ビデオ】	3-C
5	国語	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと（全6時間）	3～6④	スピーチの組み立てを考えてメモを作り、練習をした後スピーチ会を開く。	自分の思いや考えを聞き手に分かりやすく伝える工夫をして話す。【PC～作文】	3-A 3-B
	社会	米作りのさかんな庄内平野（全14時間）	13～14②	米作りについて学習した内容を「米作新聞」にまとめる。	米作りについて、自分なりのテーマを持ち、伝えたい内容を新聞形式にまとめることができる。【PC～インターネット、(図書、資料集等)】	3-B 3-C

2.2 授業実践



【社会・・・水産業のさかんな枕崎市】

- 目標・・・水産業に関する学習を振り返り、水産業に携わる人々の苦労や工夫がわかる内容をクイズ形式にまとめる。
(実践を行って)
- 学習した内容を振り返りながら、児童はどんなクイズを出すのかを考えていった。特に、クイズ形式として「〇×クイズ」「三択クイズ」「穴埋めクイズ」という形式をとり、問題と答えを工夫していった。

3. 成果と課題

- 児童は、IT機器を活用して様々な表現活動を行うことができることを実感し、「伝える」ことを意識しながら表現活動に取り組むようになった。
- 表現する中で、学習した内容を振り返ったり再度考えたりすることになり、学習内容の定着につながった。
- 評価をどのように行っていくか。（教科との関連、表現活動という視点）
- 表現力のとらえ方の整理（どの教科でどんな表現を・・・）
- 児童の実態を考慮した表現活動の焦点化の必要性（話す、書く・・・）